

自ら学ぶ子に

～家庭学習の手引き～



保護者の皆様へ

小学校での学習は、将来子どもたちが自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てることをねらいとしています。

自ら学ぶ子とは、「もっと調べてみたい」「もし〇〇〇だと、どうなるだろう」「なぜなのだろう」などと、自分で意欲や疑問・関心を持ちながら、知識を生かし、見通しをもって考えることができる子であると考えています。

学校では、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。さらに学校と家庭とが連携することで、学習内容が確実に定着し、学力が一層伸びていくものと考えます。

この手引きをお子さんと一緒にご覧いただき、家庭学習がさらに充実するように、ご活用いただければ幸いです。

大和市立大野原小学校

1. 家庭学習の良いところ

(1) 学習の習慣化

毎日行うことで、「するのが当たり前」という感覚を身につけさせましょう。テレビは消して、短時間に集中して行うと良いですね。

(2) 学習内容の定着

今日教わったことはその日のうちに復習をしましょう。さらに、過去の学習内容を復習することで、理解が深まり、知識や技能の定着が図れます。

(ヘルマンの忘却曲線によると、時間の経過と覚えている割合は、復習をしない場合、20分後58%、1時間後44%、9時間後36%、1日後26%、6日後24%、1か月後21%とされています。復習することで、忘れにくくなります。)

(3) 脳の活性化

脳は使わずにいると徐々に衰え、思考力や判断力、記憶力など様々な能力が低下していくそうです。読み（音読）・書き・計算などの学習を行い、脳を活性化していきましょう。

(4) 家族とのふれあい

家庭学習には、お家の人の姿が目に入り、言葉を交わし合える場所で行うと良いですね。家族とのコミュニケーションが図れるのと同時に、お子さんの中に「見守られている」という安心感や自己肯定感が生まれ、心身や脳の健やかな成長につながります。また、自信がつくことで、学習意欲もさらに高まります。

家庭学習には、様々な良さがあります。家庭学習を充実させ、お子さんの学ぶ力を育てていきましょう。

2. 家庭でできる学びの環境づくり



早寝・早起き・朝ご飯で、
活力・学力・体力アップ！

夜10時から2時に熟睡できる環境をつくりましょう。生活のリズムが整い、脳と体が生き生きと動きます。

時間を決めて学習しよう！
目安は10～15分×学年

短時間に集中して学習しましょう。

テレビを見る時間、
ゲームをする時間



読書に親しもう！

本の読み聞かせは情緒を安定させます。
また、国語力アップ、コミュニケーション力アップなど、様々な良い点があります。

いっしょに家事をしよう！

責任感、自立心が育ちます。
社会性の育成にもつながります。



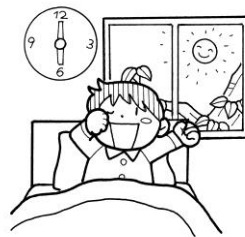
好奇心を育てよう！

知的好奇心は、学びの第一歩です。ニュースを見る、新聞を読む、生き物や自然と触れ合う、地域行事に参加する…。子どもたちは、様々な体験を通して、社会の出来事に関心をもったり、自然の不思議さに感動したりします。そのような心の動きが、学びの芽の育ちにつながりま

3. 家庭学習を進めましょう

小学校 1・2年

基本的な学習習慣を身につける！



1・2年生では・・・

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など、基本的な生活習慣を身につけることが学習習慣の定着には欠かせません。家の方の協力を得ながら、学校で学んだことを復習する習慣を身につけていく期間です。

できたこと・できるようになったことをほめ、認めていくことで子ども達の学習に対する興味や関心を引き出し、意欲を高めていくことができます。

学習の特徴

○ 1時間とした授業の中で、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。

その中には、繰り返し学習することで力がつく学習内容がたくさんあります。

○ 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」

「身の回りの整理整頓をする」ことが、学習の基本になります。

○ 生活と結びついている学びが多く、身近なものを使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。



家庭での援助

○ 学習を始める前に、テレビ等を消してください。学習をする場の整理整頓をしてください。

○ 学校からの連絡やお便り等の配付物を確認し、明日の授業予定等をお子さんと一緒に確かめることが大切です。

○ なるべく取り組ませる時間を決め、近くで様子を見守ってください。

○ 1年生は、まずは、毎日宿題を最後まで取り組ませることを続けてください。徐々に家庭学習にも取り組めるようにしましょう。

○ 一緒に買い物をしたり、時計を読んだりしながら、子どもの生活経験を増やしてください。

家庭学習の内容

【国語】

(音読)

- 楽しみながら、大きな声ではっきりと読めるようにしましょう。
- 句読点（「，」や「。」）に気をつけて、すらすら読めるように練習させてみてください。
- できる限り毎日練習に取り組みせることができるとよいです。

(漢字)

- 書き順や文字の形に気をつけて書かせてください。
- 正しい姿勢・鉛筆の持ち方で、丁寧にゆっくり書かせてください。

(読書)

- 子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置いてみてください。
- 読み聞かせをしてあげることも大切です。

【算数】

- 計算力向上のためには、まずはゆっくり正確に計算ができるようになることが大切です。正しい計算手順を確実に身につけられるようにしましょう。
- 正しく計算できるようになったら、徐々に早くできるよう練習をします。計算カード等を活用してみてください。時間を計って取り組ませることも有効です。
- 間違った問題は必ず見直しをさせ、もう一度やり直しをさせることが大切です。

【その他】

- 体育で取り組んでいる運動に関する練習や鍵盤ハーモニカの練習、生活科の学習の一環で、動植物の観察やスケッチに取り組ませたりすることも大切です。
- 楽しかったことやうれしかったことを、自分の言葉で絵日記や日記に書かせていくことにも挑戦してみるのもよいでしょう。
- 家の方の支援として、お子さんの音読を聞き、感想を伝えてあげるとはとても大切なことです。家の方のあたたかい声かけは、子どもの学びへの意欲を高めていきます。

小学校 3・4年



自主的な学習習慣を身につける！

3・4年生では・・・

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになります。「勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識をもつ子どもも出てきます。自信をもたせるような声かけや励ましが大切です。

学習の特徴

- 総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳等の使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなります、
自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則演算の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数などの内容も学ぶようになります。

家庭での援助

- 家庭でのあたたかい励ましの言葉が子ども達のやる気を引き出します。中学年になりましたが、まだまだ宿題や持ち物の点検では見守りが必要です。少しずつ自分で取り組めるように支援してください。

- 自分から机に向かう姿勢を育て、集中して学習に取り組む習慣を身に付けさせることが重要です。



- 学習に取り組む前に、学習する場所の整理整頓をし、自分で今日の宿題を確認させ、必ず最後まで取り組ませましょう。学校からのお便りなどを手渡す習慣を身に付けさせましょう。
- 社会や理科で学習する地域社会の文化や産業、自然などに触れる体験をさせましょう。

家庭学習の内容

【国語】

(音読)

- 音読する習慣が身につくように取り組ませてください。
- 句読点（「，」や「。」）に気をつけて，文章を正確に読むことができるようにさせてみてください。

(漢字)

- 正しい書き順で，正確に文字が書けるようになることを目指しましょう。
- とめ，はね，はらい，おれに気をつけて，丁寧に繰り返し練習をさせてみてください。

(言葉)

- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き，使い方に慣れさせてください。

(読書)

- いろいろな種類の本を選ばせ，読ませてください。
- 詩や百人一首などの暗唱もさせてみてください。

【算数】

- かけざんやわり算など，正しい計算手順が身につくよう，練習に取り組ませてください。
- 三角定規や分度器，コンパスなどが正確に操作できるように，繰り返し練習に取り組ませてください。

【その他】

- 音楽で習った曲(リコーダーなど)の練習。
- 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業，自然に触れさせる体験。
- 体育で取り組んでいる運動に関する練習。
- 楽しかったことやうれしかったことを，自分の言葉で絵日記や日記に書かせていくことにも挑戦させてみてください。

小学校 5・6年



自学自習の習慣を身につける！

5・6年生では・・・

中学校進学を踏まえて、自ら課題を設定し、解決していく力が必要となります。また、計画的に学習が進められるようになることも重要です。

学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、家族や先生等、子どもたちを取り巻く大人たちの言葉がけがとても大切になります。子ども達が目標を決めて努力できるよう、あたたかく見守りながら励ましていきましょう。

学習の特徴

- 学習内容が増え、論理的で抽象的な学習内容が増えます。
- 筋道を立てて考える力や、広い視野で物事を見る力が必要になります。
- 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、多様なものの見方や考え方を身に付けることができます。



家庭での援助

- 「やればできる!」「やってみたい!」という気持ちを持たせ、子どもに自信を持たせるために、ほめたり励ましたりすることがとても大切です。
- 学習した内容を生活の中でいかせるように、家族の一員としての役割を決めてください。
- 計画を立てて学習は進められるように、学習する場所を決め、整理整頓をさせてください。
- 家庭学習に取り組んだ時間を記録させていくことがとても大切です。取り組みを目に見える形で残すことは、自信と意欲の向上にもつながります。

家庭学習の内容

【国語】

(音読)

- 情景を思いうかべながら、気持ちをこめて読むなど、自分なりのめあてを決めて練習に取り組めるように声をかけてあげてください。
- 詩や俳句などの朗読や暗唱にも取り組ませてみてください。

(漢字)

- 漢字のつくりや形を意識し、丁寧に書けるよう見守ってあげてください。
- 習った漢字を使って、短文作りにも挑戦させてみてください。

(言葉)

- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、積極的に活用できるとよいです。

(読書)

- いろいろな種類の本を選ばせ、読むように心がけさせてください。新聞も読ませてみてください。短くてもよいので、読んだ感想を書いて残させると効果的です。

【算数】

- よくまちがえる計算は繰り返し練習に取り組ませてください。
- 答えの確かめを、自分でできるようにさせてください。

【その他】

- 学校での学習内容を繰り返し復習させましょう。教科書やノート、プリントなどを参考に、苦手な内容に取り組ませてください。
- 日記や感想文など、文章を書かせる機会を増やさせてください。
- 理科で星の観察をさせたり、社会で学習する生産物を調べさせたりする学習にも取り組ませてみてください。歴史漫画を読ませるのも効果的です。
- 家庭科で学んだ事を生かして調理実習や裁縫などを行わせてください。
- 体育で取り組んでいる運動の練習をさせてください。